

## 原子力リスク研究センター（NRRC） 第6回 原子力経営責任者会議 議事録

1. 日 時：2016年6月3日（金）09：30～11:50

2. 場 所：電力中央研究所（大手町本部）役員大会議室

3. 出席者：(順不同、敬称略)

主査：アポストラキス（NRRC）

委員：酒井（北海道電力）、加藤（東北電力、渡部代理）、姉川（東京電力）、阪口（中部電力）、西野（北陸電力）、豊松（関西電力）、岩崎（中国電力、古林代理）、柿木（四国電力）、中村（九州電力）、市村（日本原電）、山本（日本原燃）、浦島（電源開発）、横山、尾本（NRRC）

オブザーバ：尾野（電事連）、倉田（JANSI）

幹事：横尾・示野（NRRC）

4. 議 事：

### (1) 2015年度の研究成果について

NRRCより、リスク評価分野、及び自然外部事象影響評価分野の2015年度研究成果として、以下の研究に関して評価手法の確立や高度化等の研究結果、及び今後の計画について報告を行った。

<リスク評価分野>

1. 使用済燃料貯蔵施設の安全性評価
2. 内部火災 PRA の高度化に関する研究
3. 次世代人間信頼性評価手法の開発に関する研究
4. レベル3 PRA の技術基盤強化に関する研究
5. リスクコミュニケーションに関する検討

<自然外部事象分野>

1. 断層破砕帯分析フローの構築・適用
2. 震源を特定せず想定する地震動
3. SSHAC ガイドラインに基づく確率論的地震動ハザード評価
4. 地震フラジリティ
5. 津波フラジリティ
6. 竜巻風速ハザードの評価
7. 火山灰ハザードの評価

(委員からの主なご意見)

- ・リスクコミュニケーションについては、各電力会社でも研究を進めており、データを出してもらおう等、連携して進めるのが良いのではないか。
- ・竜巻ハザードについては、日本では竜巻の発生頻度が少なく、限られたデータの中で基準が作られてしまっているところがある。現実には即したものにするためにも、限ら

れたデータの中で超過頻度を正確に評価するための仕組みがあると良い。

**(2) NRRC の活動状況について**

NRRC より、NRRC の活動状況として、7 月に発足する新チームについて、及び原子力規制委員会と NRRC の面談結果について報告を行い、意見交換を実施した。

以 上